

＜第 7 回高速鉄道ネットワークのあり方検討委員会＞
～第 6 回検討委員会の議事概要等について～



NIIGATA
PREFECTURE

新潟県交通政策局

第6回検討委員会の議事概要（冒頭のみ公開）

■日 時：令和7年8月8日（金）10時00分～11時30分

■会 場：新潟県自治会館 2階 201会議室

■出席者：委員17名／17名

■議事項目（資料に基づき、事務局（新潟県交通政策局交通政策課）から説明）

（1）第5回検討委員会の議事概要等

（2）整備結果の調査結果（暫定）

- ・ 調査の手法や前提条件を踏まえ、各案の需要予測結果、費用便益比（ B/C ）、定性的な整備効果等を説明

（3）各案の比較検討

- ・ 上記の調査結果を各案で比較検討できるよう分かりやすく整理

（4）今後の調査方針等

- ・ 令和7年度の検討委員会における調査・検討項目、スケジュールについて説明

■議事概要（主な意見）

- B/C などの数値評価だけでなく、定性的な効果も含め、多面的に評価することが重要。
- 国の「鉄道プロジェクトの評価手法マニュアル」が2025年3月に一部変更されたため、次回の調査では変更後のマニュアルを活用する必要がある。
- （高速鉄道の実現に向けて）機運醸成について取り組んでいくことが重要である。
- 地域の皆様にワクワクしてもらえるような書き方も必要。例えば所要時間が短縮されるところんな未来があるというのを図示できたら機運が高まってくるのではないかな。
- 一番後押ししてくれるのは周辺地域の住民なので、県内の色々な地域に高速鉄道の4案を応援していただき、さらには近隣県としっかり連携をとって、日本にとって大事な国土軸であることを一緒にアピールしていければいい。